

第1回みんなで文化交流の杜をつくる会 概要

1. 開会

市長挨拶

昨年度策定した基本計画で「つどう・ふれあう・にぎわう・文化交流の杜（もり）」を基本理念として掲げている。本会はその名のとおり、みんなで“文化交流の杜”をつくっていくことを目標としている。この基本理念において、特に「杜（もり）」が意味し、目指すところは、自然の森に対して、多くの人の手が加わって成り立ち、多くの人々の拠り所となり、それによって多くの人が集い、ふれあい、にぎわう場所にあることにある。

本会においては、計画している複合施設の使い方について、利用者となられる市民の皆様の思いやアイデアをお聞きしながら、あとに控える施設の基本設計や管理運営計画にその意見を反映させ、より良い施設としてまいりたい。

2. 今日のワークショップの目的と進め方について

別紙により谷津教授が説明

3. 計画の基本構想について

別紙資料に沿って似鳥主査が説明

4. ワークショップ作業(個別グループ)

- ①各グループで自己紹介を行い、責任者を決定
- ②計画の疑問点、検討テーマを各自付箋紙に記入
- ③順番に付箋紙に記入した内容を口頭で説明しながら模造紙に貼付け
- ④関連する付箋紙を話し合いによりグループ化し、模造紙内に再配置
- ⑤重要と思われるテーマを5つに絞り込み
- ⑥各テーマのうち重要と思われるものに一人10枚のシールの持ち点で投票
- ⑦テーマの重要性を模造紙上に記入
- ⑧発表者を決め、プレゼンテーションの準備

5. ワークショップ作業(全体)

- ①A班から順に各グループの代表者が発表し、質疑応答。

発表内容

A班

- ・市民にどのようにアピールするか？アピールする施策が必要。例えば交通機関、他の地域からどのように集めて来るか。花輪以外の他地区の人が利用する、市民全体のものにするにはどうしたら良いか。市民の意識を盛り上げる必要がある。そういう施策がこれから必要。
- ・施設全体の配慮が細かい部分までされているか？例えば障害者をどれくらい意識しているか？外部からお客さんが来た時の飲食の問題。出入りの道路の問題。図書館の資料室との関係。子育て支援のイメージがつかめない。今までのところとどういう関係になっているのか、意識した方が良い。
- ・全体を見てどのような杜をつくるか。
- ・市には美術館が無いので、ギャラリーをどうするか。

B班

- ・福祉の関係。高齢者や車椅子に配慮したものが出来ているか。そういう方の意見を聞く機会をもって欲しい。
- ・国道から出入りする車両が多くなると思う。入口、出口を別けた方が安全になる。出入りが一緒だと右折、左折が大変。
- ・図書館、電子書籍を含んで何万冊用意するか。時代に対応した機能はあるのか。
- ・小学生とか子供たちも来るので、子供達の安全も配慮して欲しい。
- ・交流広場のイメージがはっきりとわからない。もう少し明確に出して欲しい。
- ・地域とのつながり。花輪地区は歩いて、他の地区はどういうアクセスがあるのか。路線バスが乗り入れる計画はあるのか。他から来る方が利用しやすいように出来ているか。
- ・MITのホールは内壁に音を反射する素材が使われていて失敗。中途半端な文化ホールは要らない。
- ・駐車場は200台で足りるのか。
- ・施設の利用時間、開館日は？閉館日があるのか。利用料は市民が扱い易い値段で。利用料を抑える、もっと合理的な管理方法は無いのか。
- ・キャッチコピーの「文化交流の杜」の杜は仙台を連想する。別の言葉は無いのか？
- ・私たちがやったことはしっかり反映されるのか？反映されて扱い易いものになるのか、ただの議論なのか。
- ・その他全体的なものとして。食事の問題、若い人が積極的に使えるようになるか、和室の収納がしっかりしているのか。

C班

(そもそも複合施設とする必要があるのか？の疑問から検討した。いまある複合施設の福祉プラザの利点、問題点からイメージした。)

- ・子育て世代が親子で一日中過ごせるのか？のイメージから、利用時間がどうなるのか、利用料金、駐車料金の設定は？
- ・複合施設となると、福祉プラザの運営を見ていると、それぞれが個々にやっていて無駄があったりうまく行き渡らない部分がある。新しい施設も管理運営体制をどうしていくかによってかなり大きく変わってくる。
- ・利活用への不安。4地区から集まるにはどうしたら良いか？バスの運営。学校が終わってから子供達が立ち寄れる施設として学校が終わる時間にバスが通るようにするとか、まちに市民センターまでは何歩だから健康のために歩いて行きましょう、と表示するなど工夫があれば良い。
- ・交流広場のイメージがつきにくい。共有ゾーンの管理運営、使い方がまだ見えて来ない。
- ・新しく出来るのであれば入れて欲しい希望として、自然を盛り込む、シャワールームが欲しい、コミュニティラジオがあれば防災施設としても使える、和室の希望、冬の稼働を高める工夫が必要。

D班

- ・図書館関係として、図書貸出カードの電子化、本のネット検索の強化、遠方利用者の利便性の強化、例えばパソコンを使って貸出している本調べられたりとか。学生向け、一般向け学習室の設置。仕切りのある個人用スペース。
- ・立地、駐車場。200台で実際足りるのか？200台で足りない時、車以外の交通機関のサービス、バスの送迎等あっても良いのでは？

- ・文化ホール、年代を問わない定期イベントの開催。どのぐらいの使用頻度があるのか？
- ・現在ある施設との連携。MIT プラザのホールと文化ホールとの兼ね合い。施設以外との連携、現在ある施設との連携はとれているのか？
- ・施設全体、利用者の声が反映されているか？図書館、市民センター利用者の意見が反映されているか？

②各自シール5枚の持ち点で、自分のグループ以外の内容で気になった内容に投票(シール貼付)

6. まとめ

谷津教授

今日、2時間半議論した成果がここ(模造紙)にある。こちらで預かり、もう少し分り易くなるよう、フォーマットを統一して表示したい。今日のワークショップのテーマはあくまでも新しい施設のどういったことを主に検討していけば良いかの問題を洗いざらい出すこと。出尽くしてはいないが、いろんな意見が出たと思う。時間があるので、各グループの感想を聞いて今回は終わりにしたい。

A班 図書館の一番の問題は来年度になれば司書が居なくなる。司書を養成することを市で考えているかはわからないが、図書館としてはいろいろやって来た。地図の展覧会とか。菅江真澄の本を借りて来る交渉をしたが、空調のある展示設備がないのが問題だった。ギャラリーもただ展示するのではなく、ガラス戸のある設備も欲しい。八戸の図書館は古文書を収納する空調の部屋がある。

B班 ボードに貼られた結果を見るとAからDまでみんなで考え出したものは共通したものが多い。来る人の利便性や安全を考えている。いろんな立場の人達の意見を知ることが出来てすごく為になった。ありがとうございます。

C班 Cグループでは子育て世代のことが話題になった。噂では(複合施設に)子育て支援センターが来ない方が良く、いまのままで十分ということを知っていたが、みんなの世代と一緒にになれる、集える施設があれば良いとすごく思った。今日は参加して勉強になった。

D班 図書館の意見が多かったが、他のグループの意見を聞いて規模の充実より外からみた交通アクセスの方法、開館時間とかいろいろ考えていると思った。このグループの年代は図書館利用率が高いので、図書館についてのものが多かった。

谷津教授

各班がまとめた模造紙はテーマがグルーピングされ、それぞれの班がそれぞれのメッセージをちゃんと伝えており、とても良いワークショップだったと思う。今日のワークショップは課題を解決するためのワークショップではなく、問題を掘り起こすワークショップ。これから市の方に、最終的にどういう提案書になるかわからないが、少しずつ問題を掘り下げながら詰めていきたい。次回以降は、今日の内容をこちらで整理し、掘り下げるようなワークショップにしていきたいので、次回もよろしく願いをしたい。今日のワークショップの様子は是非他の市民の方にも伝えたいので、A3版1枚ぐらいの写真とニュースにして発行したい。場合によっては、途中からでもこのワークショップに参加したい方がいらっしやるかもしれないので、そういうのも含めて皆さんにお知らせするようなものを作っていきたい。今日は長時間ありがとうございました。

7. 次回の予告

- ・次回は花輪市民センターが会場となり、解体中の旧鹿角組合総合病院を実際に見てから検討を行う。
- ・移動が伴うため、遅れる場合は事前に連絡をお願いしたい。
- ・次回以降参加したい方がいれば随時受付する。
- ・会の内容は広報、市ホームページへ掲載する。写真の公開に問題がある方は配慮するので申し出て欲しい。

8. 閉会